



蝦夷の 小りんご

札幌市立平岸西小学校学校便り 臨時号
令和7年9月10日
<https://www.hiragishinishi-e.sapporo-c.ed.jp>

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果について

令和7年4月17日に全国の6年生を対象に「全国学力・学習状況調査」が行われました。本調査により測定できるのは、子どもたちの学力の一部ではありますが、今回の結果を踏まえて明らかになった本校の子どもたちの学力や学習状況、そして改善の方向を保護者の皆様にお知らせいたします。また、同様の内容をホームページにも掲載しておりますのでご覧ください。

◆全国学力・学習状況調査の内容

(1) 教科に対する調査（実施教科：国語・算数・理科）

◇「知識・技能等」と「活用する力等」を一体的に問う問題

(2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

◇学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査（71項目）



【国語】本校の調査結果の概要及び改善の方向

本校の調査結果の概要

『知識及び技能』

- ◆「言語の特徴や使い方に関する事項」
・全国平均を下回っている。
- ◆「情報の扱い方に関する事項」
・全国平均と上回っている。
- ◆「我が国の言語文化に関する事項」
・全国平均を上回っている。

『思考力、判断力、表現力等』

- ◆「話すこと・聞くこと」
・全国平均を下回っている。
- ◆「書くこと」の平均正答率
・全国平均を下回っている。
- ◆「読むこと」の平均正答率
・全国平均とほぼ同程度であるが、上回っている。

『その他（領域を問わず）』

- ・記述式問題の正答率が全国平均を下回っている。

今回の調査における課題

△同音異義の漢字を正しく使うこと。

△目的や意図に応じて必要な情報を見付け分類、関係付けをしながら、伝える内容を工夫したり、書き表し方を工夫したりすること。

△話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。

△書く内容の中心を明確にし、段落を作ったり相互関係に気を付けたりして、文の構成を考えること。



改善の方向

■意味を捉えて正しく漢字の使う意識を醸成する学習活動の充実。

■情報の整理や比較、関連付けをしながら、事実をまとめたり、自分の考えをもったりする学習活動の充実。

■国語の授業に限らず、事実や考えを書き表す場を多く設定することで書くことへの抵抗感を減らし、適切な表現を推敲する学習活動を充実。



【算数】本校の調査結果の概要及び改善の方向

本校の調査結果の概要	今回の調査における課題	改善の方向
◆「数と計算」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、上回っている。 ◆「図形」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、上回っている。 ◆「変化と関係」 ・全国平均を上回っている。 ◆「データの活用」 ・全国平均を上回っている。 『その他（領域を問わず）』 ・選択式問題の正答率が全国平均を上回っている。 ・記述問題の一部で、無回答率が全国平均を上回っている。（→無回答が多い）	△異分母の分数のたし算ひき算を正しく計算すること。  △分割・合成して求める図形の面積の求め方や、伴って変わる2数の関係を、式や言葉を用いて記述すること。	■<u>分数の意味と、分数が表す量感を正しく理解し、計算する学習活動の充実。</u> ■基本図形を基に複雑な図形の面積を求めるなど、<u>既習を使って問題解決する学習活動の充実。</u> ■表などの資料から<u>必要な情報を見だし、式や言葉で数量の関係や求め方を表現する学習活動の充実。</u>

【理科】本校の調査結果の概要及び改善の方向

本校の調査結果の概要	今回の調査における課題	改善の方向
◆「『エネルギー』を柱とする領域」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、上回っている。 ◆「『粒子』を柱とする領域」 ・全国平均と上回っている。 ◆「『生命』を柱とする領域」 ・全国平均を下回っている。 ◆「『地球』を柱とする領域」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、上回っている。 『その他（領域を問わず）』 ・選択式問題においては全国平均を上回っているが、記述式問題では下回っている。 ・思考・判断・表現力を問う問題において、全国平均を上回っている。	△顕微鏡を操作し、適切な像にするための技能を身に付けること。 △種子の発芽の条件について、差異点や共通点を基に、新たな問題点を見だし表現すること。  △解答に要する（問題を判断する）時間。問題に対する粘り強さ。	■<u>用具に繰り返し触れる機会を作り、使い方などの技能を身に付ける学習活動の充実。</u> ■結果を基に、<u>結論を導いた理由や、新たな課題を見だし表現する学習活動の充実。</u> ■身の回りの物質や動植物への関心を高め、<u>性質などの知識を正しく身に付ける学習活動の充実。</u>

児童質問紙（～学習・生活の様子～）

本校の調査結果の概要

全国平均と比較して 肯定的な回答の多いもの

- 朝食を毎日食べていますか。
- 毎日同じくらいの時間に寝ていますか。
- 将来の夢や目標を持っていますか。
- 人が困っているときは、進んで助けていますか。
- 友達関係に満足していますか。
- 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができますか。
- これまでの生活の中で、自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがあります。
- 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。
- あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器で、文章を作成する（文字、コメントを書くなど）こと／情報を収集する（検索する、調べる）こと／情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）こと／プレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができると思いますか。
- 5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。
- 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。
- 国語の授業で、目的に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書いていますか。
- 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか。
- 理科の勉強は得意ですか。
- 理科の授業の内容はよくわかりますか。
- 理科の授業では問題に対して答えがどのようになるか、自分で予想（仮説）を考えていますか。
- 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。
- 困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。
- 5年生までに受けた授業では、各教科で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。
- 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。

全国平均と比較して 肯定的な回答の少ないもの

- 朝食を全く食べていない。
- 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間勉強しますか。（学習塾、家庭教師、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）
- 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間読書をしますか。

【質問紙の結果から】

「朝食の摂取」や「睡眠」などの**基本的な生活習慣**について、意識しながら生活できている児童が多いことが分かりました。「自然に触れ合う機会」づくりも含め、ご家庭でのご協力のおかげと感謝しております。また、「友達関係に満足」し、「困っている人を進んで助ける」「地域の役に立ちたい」などの**道徳的な姿**が多いことも、うれしい結果でした。さらに、考えて学ぶこと、ICT 機器の活用技能、学習への取り組み方など、総じて**自己有用感が高く**、安定した心で学習・生活ができていることも分かりました。

一方で、「朝食を全く摂らない」児童が全国平均よりも多く、「勉強時間・読書時間」の少なさも気になる結果でした。また、「自分の考えが伝わるように工夫して書き表している」という自己評価に対して、国語の検査結果では、「書く力」に課題が見られます。子どもたちの頑張りを認めながら、**時間の使い方の見直しや、朝食・学習の必要性の再確認**をするなどし、**書く活動の充実を図る**など、学校でもさらにかかわっていききたいと思います。



今後も ご家庭にご協力いただきたいこと



- 「家庭での学習」において、**お子さん自身が目標設定した「ぐんぐん（時間）」を達成**できるよう促してください。目標を達成できたときは「よくやったね！感心したよ。」などと**励まし、頑張りを認める**と意欲が高まると思います。「学校ではどんな勉強をしたの？一緒に振り返ろう！」などと、**取組の継続を支えるかかわり**をお願いします。
- ゲームの時間が長くなっていないか、読書の時間はとれているか、心身の健康のためにも今一度確認をお願いします。
- ご家庭でも、**言語に触れる機会**を増やすかかわりをしていただけると、お子さんの学びの向上につながります。家族の会話などで分かりやすい説明ができたときには、大いに褒めてあげてください。

※「**まほうのかいわ**」で**お子さんが習慣を身に付けていくようなかかわり**をお願いします。

「まほうのかいわ」は、ホームページの「学ぶ力」育成の「家庭での学習」の中に掲載しています。